

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公表番号】特表 2001-517984(P2001-517984A)
【公表日】平成 13 年 10 月 9 日 (2001.10.9)
【出願番号】特願 平 10-540431
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 M 15/00
【F I】
A 6 1 M 15/00 Z

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 11 月 2 日 (2004.11.2)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年11月 2日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第540431号



2. 補正をする者

氏名(名称) アストラ・アクチエボラーグ

3. 代理人

住所

〒540-0001

大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所

電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

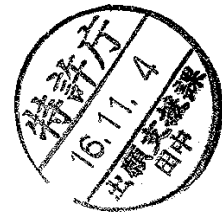
氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲



6. 補正の内容

(1) 明細書中、次の箇所を補正します。

①第6頁第29行目

「好ましくは、前記フィンは、ほぼ半径方向に向けられている。」とあるのを、
「好ましくは、前記フィンは、ほぼ半径方向に向けられている。」と訂正します。

(2) 請求の範囲を、別紙の通り補正します。

以上

請求の範囲

1. 吸入によって散薬を投与する吸入器において、
複数の面によって形成され、マウスピース（２）と入口及び出口を有する室（５８）とを有し、使用時にユーザの吸入によって空気の流れが引き込まれる流路と、
該流路に１服用分の散薬を与えて空気の流れに浮遊させる投与機構（８）と、
前記室（５８）内で軸の周りに回転可能で、前記室（５８）の入口に対向して配置された回転可能部材とからなり、
前記回転可能部材は、使用時に少なくとも部分的に前記空気の流れの一部によって回転し、連続した移動面を与えて、前記室（５８）の入口を通して引き込まれる散薬を含む空気の流れが当該移動面に向かうようにしたことを特徴とする吸入器。
2. 前記回転可能部材は、ディスク（６２）からなり、該ディスクは複数の傾斜アーム（６４）を有する請求項１に記載の吸入器。
3. 前記回転可能部材は、少なくとも１つの螺旋状突起（８１；１１６）が中に配設された管状部（７９；１１４）と、前記室（５８）の１つの面を形成する半径方向外方に延びるフランジ（８３；１１８）とからなる請求項１に記載の吸入器。
4. 前記フランジ（８３；１１８）は、前記室（５８）の入口に対向して配置されている請求項３に記載の吸入器。
5. 前記室（５８）の入口に対向するフランジ（８３；１１８）の１つの面は、起伏面からなる請求項４に記載の吸入器。
6. 前記起伏面（９２）は、整列した凹部（９４）からなる請求項５に記載の吸

入器。

7. 前記起伏面（92）は、整列した凸部（94）からなる請求項5に記載の吸入器。

8. 前記マウスピース（2）は、ユーザの唇によって把持される第1の外側部（48）と、該外側部の中に配置された第2の内側部（70；112）とからなり、

前記回転可能部材は、内側部（70；112）を有し、

前記フランジ（83；118）の下面（86；119）は、前記室（58）の上面を形成している請求項3から7のいずれかに記載の吸入器。

9. 前記フランジ（83；118）の外周面（82；129）は、前記マウスピース（2）の外側部（48）の内周面（85）と摺動可能に嵌合している請求項8に記載の吸入器。

10. 前記フランジ（83；118）は、下方に垂下する周縁スカート（80；128）を有し、該スカートは当該フランジ（83；118）の外周面（82；129）を形成している請求項9に記載の吸入器。

11. 前記マウスピース（2）の外側部（48）は、中央スピンドル（72）を有し、該スピンドルの周りにマウスピース（2）の内側部（70）が回転可能に装着されている請求項8から10のいずれかに記載の吸入器。

12. 前記マウスピース（2）の外側部（48）は、環状スリーブ（120）を有し、該環状スリーブの周りにマウスピース（2）の内側部（112）が回転可能に装着されている請求項8から10のいずれかに記載の吸入器。

13. 前記マウスピース（2）の外側部（48）は、その周縁の周りに間隔を置

いて配設された複数の穴（１０４）を有し、ユーザが吸入すると当該穴を通して補足空気が引き込まれるようにし、

前記マウスピース（２）の内側部（７０）は、少なくとも１つの空気偏向部材を有し、該空気偏向部材は、前記複数の穴（１０４）を通して引き込まれた補足空気が作用するようにした請求項８から１２のいずれかに記載の吸入器。

１４．前記少なくとも１つの空気偏向部材は、マウスピース（２）の内側部（７０）の外周面（８２）に設けられた複数の縦溝（１０２）からなり、

前記マウスピース（２）の外側部（４８）の複数の穴（１０４）は、前記マウスピース（２）の内側部（７０）の外周面（８２）と対向する関係に配置されている請求項１３に記載の吸入器。

１５．前記縦溝（１０２）は、前記マウスピース（２）の内側部（７０）の回転軸に平行に整列している請求項１４に記載の吸入器。

１６．前記縦溝（１０２）は、前記マウスピース（２）の内側部（７０）の回転軸に対して傾斜している請求項１４に記載の吸入器。

１７．前記少なくとも１つの空気偏向部材は、前記マウスピース（２）の内側部（７０）の管状部（７９）を囲む複数の傾斜ブレード（１１０）からなる請求項１３に記載の吸入器。

１８．前記マウスピース（２）は、少なくとも１つの螺旋状突起（１４０）が中に配設された管状部（１３６）と、前記室（５８）の１つの面を形成する半径方向外方に延びるフランジ（１４２）とを有し、

前記回転可能部材は、前記室（５８）の面を形成する前記フランジ（１４２）の１つの面の近傍に回転可能に装着されている請求項１に記載の吸入器。

１９．前記フランジ（１４２）の下面は、前記室（５８）の上面を形成している

請求項 18 に記載の吸入器。

20. 前記フランジ (142) は、前記室 (58) の入口と対向して配置されている請求項 19 に記載の吸入器。

21. 前記回転可能部材は、ディスク (150) からなる請求項 18 から 20 のいずれかに記載の吸入器。

22. 前記ディスク (150) は、下方に開口する円錐の形状を有する請求項 21 に記載の吸入器。

23. 前記ディスク (150) は、少なくとも 1 つのほぼ中央に配置された穴 (158) を有する請求項 21 または 22 に記載の吸入器。

24. 前記ディスク (150) の外周面 (155) は、前記室 (58) の内周面と摺動可能に嵌合している請求項 21 から 23 のいずれかに記載の吸入器。

25. 前記ディスク (150) は、その外周面 (155) を規定する下方に垂下する周縁スカート (154) を有する請求項 24 に記載の吸入器。

26. 前記室 (58) は、その周縁の周りに間隔を置いて配設された複数の穴 (104) を有し、ユーザが吸入すると当該穴を通して補足空気が引き込まれるようにし、

前記ディスク (150) は、少なくとも 1 つの空気偏向部材を有し、該空気偏向部材は、前記複数の穴 (104) を通して引き込まれた補足空気が作用するようにした請求項 24 または 25 に記載の吸入器。

27. 前記少なくとも 1 つの空気偏向部材は、前記ディスク (150) の外周面 (155) に設けられた複数の縦溝 (156) からなり、

該複数の穴（１０４）は、前記ディスク（１５０）の外周面（１５５）と対向する関係に配置されている請求項２６に記載の吸入器。

２８．前記縦溝（１５６）は、前記ディスク（１５０）の回転軸に平行に整列している請求項２７に記載の吸入器。

２９．前記縦溝（１０２）は、前記ディスク（１５０）の回転軸に対して傾斜している請求項２７に記載の吸入器。

３０．前記少なくとも１つの空気偏向部材は、前記ディスク（１５０）の面（１７２）に配設されるとともに、前記室（５８）の入口から離れるように向けられた複数のフィン（１７４）からなる請求項２６に記載の吸入器。

３１．前記フィン（１７４）は、ほぼ半径方向に向けられている請求項３０に記載の吸入器。

３２．前記室（５８）の入口に対向するディスク（１５０）の面は、起伏面（１６６）を有する請求項２１から３１の何れかに記載の吸入器。

３３．前記起伏面（１６６）は、整列した凹部（１６８）からなる請求項３２に記載の吸入器。

３４．前記起伏面（１６６）は、整列した凸部（１７０）からなる請求項３２に記載の吸入器。